

広報  かるまい



Karumai 11

町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌

Nov. 2025

vol. 800 

「ふんふんっしょー！」

「ふんふんっしょー！」

【表紙】
晴山保育園
サツマイモ掘り



多くの来場者が参加した
景品付きお菓子まき

軽高生と音更高生も
物販を手伝いました

真剣に挑戦！
『とり天バーガー
づくり体験』

自分で作るとおいしさ倍増♪
『きるなし大福づくり体験』

「座・宇漢米」の太鼓演奏

神久保翔也さんもじゃんけん
大会で会場を盛り上げました

トシカチの音が響いた
『花台づくり木工体験』

食フェスタ in かるまい

軽米の食が一堂に会する「食フェスタ in かるまい2025」が10月19日、宇漢米館特設会場で開かれました。当日は秋晴れのもと、町内外から約5400人が来場し、会場は町の味覚と笑顔であふれました。町内企業や姉妹町の北海道音更町など18団体が出店し、商品販売や自慢の料理をふるまったほか、とり天バーガーづくり体験、きるなし大福づくり体験、花台づくりの木工体験など、多彩な体験コーナーも人気を集めました。音更町のブースでは、音更あんぱんやインデアンまんなどが販売され、北海道の味を求める多くの人で賑わう場面もありました。

多目的ホールのステージでは、創作太鼓の会「座・宇漢米」による力強い太鼓演奏をはじめ、軽米中学校吹奏楽部と軽米高校吹奏楽部のミニコンサート、沢田神楽や山内神楽による郷土芸能が披露され、来場者を魅了しました。軽米町ふるさと大使でアイドルグループ甘党男子の神久保翔也さんも登場。景品付きお菓子まきやじゃんけん大会、きるなし大福づくり体験などに参加し、来場者と交流しました。

かるまいブランド認証式では、大黒醤油株式会社（坂本剛代表取締役社長）の「にんにく塩こうじ」、於本薪炭（於本宗也代表）の「ベビーチャコール」と「かるまい純木炭」の3商品が新たに認証されました。かるまいブランド認証商品は、現在14事業所、計30品目となっています。

音更町PRタイムもあり、音更高校生が町や学校の魅力を紹介。音更町クイズの正解者には姉妹締結40周年記念タオルが贈られました。軽米と音更、両町の絆がさらに深まる一日となりました。

姉妹町研修 OB・OG 交流会開催

「こども姉妹町視察研修生参加者交流」が10月19日に瀧村屋で開かれました。かつて小・中学生時代に研修に参加したOB・OGが、軽米から7名、音更から6名集まり、思い出話に笑顔がはじけました。音更の皆さんは、同日に開催された食フェスタでとり天バーガーづくり体験や町内散策も楽しみ、懐かしさと軽米の今を実感していました。



手作りバーガーを手に、はいチーズ！



ハートのポーズで集合写真



「おいしいね！」
世代を超えた笑顔があふれました



町産豚肉のおふるまい



軽米と音更のコラボ商品
「おとふけ豆味噌ラーメン」



焼きたての
あまに鶏炭火焼



町の味覚を満喫

学び深める実りの季節 子供たちの秋の収穫体験

5年生が稲刈りに挑戦



刈った稲を協力して運びます！

小軽米小学校の5年生11人が10月7日、5月に田植えをした稲の収穫を体験しました。児童たちは、草踏みや成長観察などを通してお米の学習を重ねてきました。この日は鎌やバインダーで刈り取る作業に挑戦。刈り取った稲を校庭で天日干ししました。29日には脱穀作業も体験。今後は試食を通して収穫の喜びを味わいます。

夢中でサツマイモを収穫

晴山保育園の3〜5歳児が10月15日、サツマイモ掘りを行いました。園児たちは一生懸命土を掘り、「出てきたー」「おっきいのあったー」と歓声を上げながら夢中で収穫を楽しみました。手を土で真っ黒にしながらも、掘り出したお芋をうれしそうに掲げる姿も。収穫したサツマイモは、29日の祖父母参観で焼きいもにして味わいました。



掘り出したサツマイモを両手で掲げ満足げ

軽米小でえごまの収穫体験



わらでしっかりと束を結ぶ5年生

軽米小学校の5年生29人が10月20日、えごまの収穫体験を行いました。講師の中里多喜男さん（大沢）と浅水秋雄さん（下円子上組）の指導のもと、刈払機で刈り取ったえごまを束ね、わらで結ぶ作業に挑戦。児童たちは手際よく束を仕上げました。鶴飼凌久さんは「おばあちゃんちでやったことがあり、すばやくできた」と話していました。

音更町姉妹締結40周年記念 交流事業



両町の歴史と文化を伝える合同展



パネルや貴重な資料が並びます

軽米町歴史民俗資料館・音更ふるさと資料館合同展が開催されています。7月から9月にかけては音更町で展示され、多くの人で賑わいました。10月1日から11月16日までは軽米町歴史民俗資料館で、11月18日から24日までは宇漢米館で展示を実施。音更町からは、美しい十勝石（黒曜石）の石鏃やエゾシカの赤ちゃん剥製標本など、貴重な展示品も出展されています。

音更町をめぐる個人参加ツアー

個人参加型の音更町訪問ツアーが、10月3日から6日に実施されました。参加者は、音更ふるさと資料館や十勝が丘ワイナリー、柳月スイートピアガーデンなどを巡り、町の歴史や自然、味覚を楽しみました。5日には「みのり」むふエスタおとふけ2025」を見学し、音更のにぎわいや豊かな地域文化に触れる充実の旅となりました。



音更町発祥の地碑前で記念撮影

高校生がつなぐ軽米と音更の絆



マドレーヌ作りで交流を深める生徒たち

軽米高校と音更高校の生徒の交流も行われ、9月30日にはオンライン授業でお互いの町の紹介を行い、9日には両町の特産品を使ったマドレーヌ作り挑戦しました。19日には音更高校生が軽米町を訪れ、「食フェスタinかるまい」で軽米高校生ととり天バーガー作りや物販の手伝いなどを実施。笑顔と交流にあふれた時間となりました。



- ①コウシャ見学ツアー ②書道展
③家庭クラブ展示 ④黒板アート
⑤美術展（八戸市美術展の入選作品）
⑥2年生お化け屋敷 ⑦3年1組サバイバル・ゲーム
⑧細谷地さんの独唱 ⑨笑顔ではいチーズ！
⑩ギターの弾き語り
⑪吹部の演奏に合わせてジャンボリミッキーを踊りました
⑫緑日
⑬PTAによるパンと特産品販売

軽高祭

enjoy ～個性豊かに笑顔で輝け～

「軽高祭」が10月18日に軽米高校で開催されました。テーマは「enjoy ～個性豊かに笑顔で輝け～」。生徒たちがそれぞれの個性を生かして創意あふれる発表を行い、会場には約600人が訪れました。

ステージ発表では、有志発表と吹奏楽部の演奏が披露されました。有志発表のトップバッターは、細谷地瑠華さん（1年生）による「女子高生勇気を出して歌ってみた」。堂々としたステージで2曲を熱唱し、大きな拍手が送られました。続いて、サブライズゲストとして奥平先生が登場。ギターの弾き語りで会場を沸かせました。

吹奏楽部は「響け！軽高sound II」と題して迫力ある演奏を披露。息の合った音色とリズムで会場を盛り上げ、軽高生の団結と情熱を感じさせました。

各教室では展示や緑日コーナー、PTAのパンの販売なども行われ、生徒・教職員・地域の方々が一体となって楽しむ文化の一日となりました。



軽高祭の開催に併せて…

町民体育館が開放されました



来場者が一緒に楽しんだバレーボール

10月18日に行われた軽高祭の一般公開に併せて、町民体育館が開放されました（町政策推進課主催）。町内外からおおよそ200人が訪れ、日本だけでなく海外からの来場者もあり、国際色豊かな交流の場となりました。会場には、軽米町イメージキャラクターの写真撮影スポットやバレーボールコートが設置され、多くの来場者が記念撮影やバレーを楽しみました。また、来場記念として、町のキャラクターがデザインされたポストカードとキーホルダーが配布され、来場者からは喜びの声が聞かれました。



令和7年度 財政状況の公表

一般会計



健全化判断比率の公表

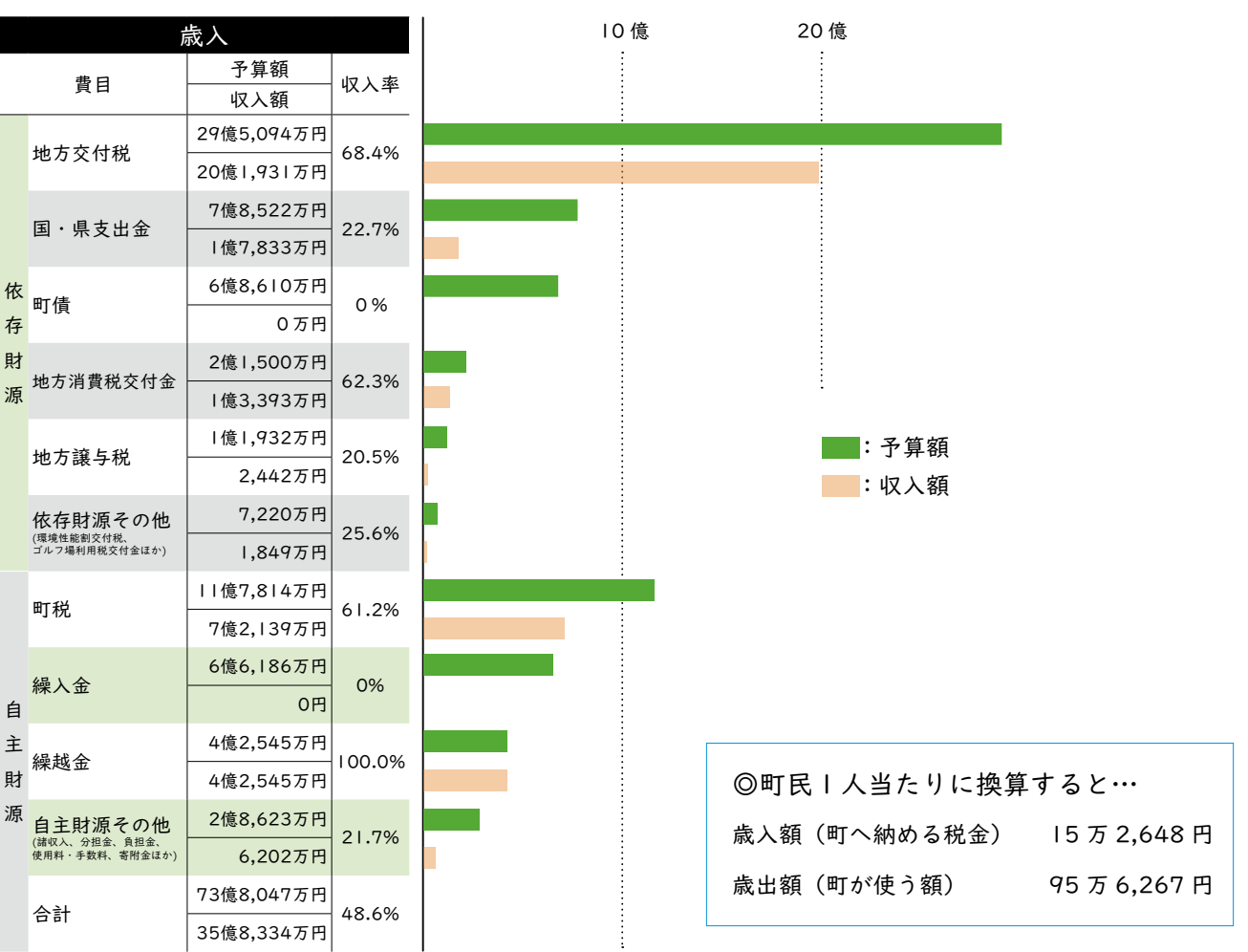
区分	軽米町	県内市町村 平均	早期健全化 基準
実質赤字比率	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	20.0
実質公債費比率	10.6 (10.7)	10.1 (10.3)	25.0
将来負担比率	20.5 (36.6)	27.4 (28.7)	350.0

※赤字額がない場合は「—」を記載しています。() は前年度

歳出		費目
執行率	予算額 執行額	
41.3%	17億1,018万円	民生費
	7億 620万円	
27.4%	15億4,850万円	総務費
	4億2,355万円	
50.0%	9億6,978万円	公債費
	4億8,454万円	
24.4%	7億5,992万円	土木費
	1億8,579万円	
39.1%	7億1,238万円	衛生費
	2億7,860万円	
38.0%	7億 894万円	教育費
	2億6,961万円	
28.5%	3億8,871万円	農林水産業費
	1億1,084万円	
35.9%	3億7,241万円	消防費
	1億3,362万円	
46.1%	1億1,662万円	商工費
	5,376万円	
45.5%	9,303万円	その他 (議会費、予備費、労働費、災害復旧費)
	4,229万円	
36.4%	73億8,047万円	合計
	26億8,878万円	

町は、皆さんに納めていただいた税金などが町づくりにどのように使われているのかをお知らせするため、半年ごとに財政状況を公表しています。今回は令和7年度(4月から9月)の状況についてお知らせします。(令和7年9月末時点)

各数値は、千円単位を四捨五入しているため合計と内訳が一致しない場合があります。



水道事業会計

科目	予算額	収入済額
水道料金	1億7,140万円	8,912万円
一般会計補助金	8,467万円	4,233万円
その他の収益	6,737万円	3,739万円
合計	3億2,344万円	1億6,884万円

執行率 52.2%

科目	予算額	支出済額
水をつくる費用	1億3,043万円	3,137万円
施設の減価償却	1億7,186万円	8,593万円
借入金利息	1,521万円	795万円
その他の費用	530万円	0万円
合計	3億2,281万円	1億2,526万円

執行率 38.8%

下水道事業会計

科目	予算額	収入済額
下水道使用料	2,761万円	1,144万円
一般会計補助金	6,582万円	3,291万円
その他の収益	7,114万円	3,257万円
合計	1億6,457万円	7,692万円

執行率 46.7%

科目	予算額	支出済額
污水处理にかかる費用	5,687万円	1,394万円
施設の減価償却	1億 153万円	5,077万円
借入金利息	798万円	423万円
その他の費用	10万円	0万円
合計	1億6,648万円	6,894万円

執行率 41.4%

町債の残高

町債(借入金)	
政府資金	88億9,624万円
旧郵政公社(簡保・郵貯)	65万円
地方公共団体金融機構	12億9,742万円
銀行、農協等金融機関	3億2,970万円
合計	105億2,401万円

町の資産

公有財産	土地	588万9,958㎡(うち山林 282万2,365㎡)
	建物	8万5,699㎡ 無体財産 (商標権) 3件
	出資による権利	5,479万円 有価証券 6,106万円
債権	貸付金	2億4,783万円
基金	残高	34億1,116万円 土地 72万5,700㎡

特別会計

費目	歳入		歳出	
	予算額	収入済額	収入率	執行額 執行率
国民健康保険	10億2,820万円	3億4,927万円	34.0%	3億9,367万円 38.3%
介護保険	1,115万円	65万円	5.8%	487万円 43.7%
後期高齢者医療	1億3,110万円	4,508万円	34.4%	3,359万円 25.6%

※特別会計は、特別の目的のために一般会計と区分して経理管理される会計で、それぞれ独自の予算を組んでいます。

教育委員会事務局から

かるまい文化交流センター

宇漢米館の年内開催イベント



かるまい文化交流センター宇漢米館では、年間を通して様々なイベントを開催しています。
今後実施予定のコンサートや演劇などのイベントを紹介します。

イベント名	日時	内容
落語公演会	11 / 23 (日)	入場料 1,000円 全席自由席 出演予定者 ・今野家 ちよすな (二つ目) ・今野家 世はね (真打ち) ・今野家 もう世 (真打ち)
	開演 13:00 (開場 12:30)	
小田代直子民謡・歌唱ショー	11 / 30 (日)	入場料 1,000円 全席指定席 出演予定者 小田代直子、黒石八郎、高橋律圭、漆原栄美子、吉田やす子、若松寛巳、竜成瞳美、矢巾町民謡保存会ゆりの会、北條真由美、神楽こはく 他
	開演 13:30 (開場 13:00)	
第1回軽米・芸能まつり	12 / 7 (日)	入場料 1,500円 全席指定席 出演予定者 花生竜元、博乃翔、夢之丞、星之丞、花生まな 小西礼子、日向日出男、花美絵梨華、 花美敬扇華、花美舞秀、鶴飼久子 他
	開演 11:00 (開場 10:30)	
歳末助け合いチャリティーショー	12 / 14 (日)	入場料 2,000円 全席指定席 出演予定者 石川兄弟、錦兄弟、青森うぐいす姉妹、花美流竜美会、 花美流稲扇会、花美流加寿美会、早乙女清友会、しらゆきの会、南部玉三郎、育美会、三陸釜石会、鼓乃美流さんさ鼓乃美、スタジオジュエル、WANDO の会 他
	開演 11:00 (開場 10:00)	
映画上映会	12 / 21 (日)	作品名「はたらく細胞」 入場料 500円 全席自由席
	上映 10:00 (開場 9:30)	
	12 / 21 (日)	作品名「木の上の軍隊」 入場料 500円 全席自由席
	上映 14:00 (開場 13:30)	

※チケットが売り切れる場合もありますのでお早めにお越しください。

上記の他にも、イベントが予定されています。詳細は、チラシやホームページからご確認ください。

【問い合わせ】
教育委員会事務局生涯学習担当 (☎46-4744)

町副業型地域活性化起業人に

辻本隆宏さんが着任



たかひろ
辻本 隆宏 さん
(東京都在住・盛岡市出身)

町副業型地域活性化起業人の辞令交付式が10月1日に行われました。東京都内の企業に在籍し、データ分析を活用した自治体支援に携わる隊員が着任。福祉や健康づくりの分野で、データ分析や計画策定などの経験を生かし、今後は食育推進計画の策定などに取り組みます。総務省の制度を活用した着任は町では初めてで、本業の傍ら月1日以上来庁し、町職員と意見交換を行います。

町地域おこし協力隊に

岡部裕子さんを任命



ゆうこ
岡部 裕子 さん
(埼玉県から移住・久慈市出身)
【移住・交流促進プロジェクト】

町地域おこし協力隊の委嘱状交付式が10月1日に行われ、新たな隊員が着任しました。今後は、首都圏などで開かれる移住・交流イベントへの参加や、空き家調査、移住希望者の相談対応など、移住促進に関する業務を担当します。また、SNSを活用した地域の魅力発信や、交流人口の拡大を目的としたイベントの開催、再生可能エネルギーに関する業務にも取り組めます。

太陽の里

補助金活用で印刷機器を整備

社会福祉法人桂泉会の生活介護事業所「太陽の里」(岩館收二所長)では、公益財団法人JKAの補助事業を活用し、9月に新たな印刷機器として製版機、紙折機、ガジェットプリンターを導入しました。



製版機



紙折機

岩館所長は、「当該事業所は生活介護事業所として、介護を必要とされる障がいのある方へ入浴、食事、余暇活動、生産活動等の支援を行っております。その中で支援を受けながら働ける場として印刷業務を行っており、機械も老朽化していく中、自分たちだけでは新たな機器の更新は難しく、今回3回目になりますがJKA様の補助金を活用することができ大変ありがたく思っております。このことにより利用者の皆さんへ安心して働ける場を提供することができ、作業へのやりがいや地域生活での生きがいを持てるよう支援することができればと思います」と述べていました。



ガーメントプリンター

町内3校児童が力走 第15回軽米町小学校駅伝競走大会

第15回軽米町小学校駅伝競争大会が10月8日にハートフル・スポーツランドで開催され、町内の小学校3校から99人が出場しました。秋空のもと、力強い走りと声援がグラウンドに響きました。男子は軽米小学校Aチームが3大会ぶりの優勝、女子は小軽米小学校Aチームが2連覇を達成。仲間とともにたすきをつなぎ、全力を尽くしました。結果は次のとおりです。

【男子】

- ①軽米小A（22分48秒）
- ②小軽米小A（23分16秒）
- ③晴山小A（24分58秒）

【女子】

- ①小軽米小A（26分01秒）
- ②軽米小A（27分18秒）
- ③晴山小A（27分29秒）



男子の部で優勝した軽米小Aチーム



女子の部優勝した小軽米小Aチーム

大きな掛け声がホールに響く 年長児交流会開催

町内の保育施設3園による交流会が10月1日に宇漢米館で開かれました。軽米こども園、晴山保育園、小軽米保育園の年長児31人が参加。それぞれの園で練習してきた駒踊りを合同で披露し、大きな掛け声がホールいっぱいに響き渡りました。駒踊りの後は、じゃんけん列車で元気に遊び、笑顔の輪が広がりました。



元気いっぱいの駒踊りを披露！

沿道の声援を力に 第43回軽米町ロードレース大会

軽米町ロードレース大会が10月5日に開催され、10kmの部に29人、5kmの部に25人が出場しました。町内外から集まったランナーが沿道の声援を受けながら力走。一般男子39歳以下5kmの部では、東京都から参加した三角成彦さんが大会新記録を樹立。「沿道の応援に後押しされて走れた」と笑顔で語りました。



力強いスタートを切るランナーたち

ピョピョ広場に広がる笑顔 軽高生の探究活動

総合的探究活動の一環として軽米高校2年生の絵本の読み聞かせが、10月12日に宇漢米館ピョピョ広場で行われました。「どうぞのいす」と「999ひきのきょうだいのおひっこし」を優しく読み上げました。小林礼慈さんと小林そらさんは「子供たちが笑顔で聞いてくれてうれしかった」と振り返りました。



「どうぞのいす」を優しく読み上げる軽高生

わたしの3.11から学ぶ 草貴子さんが伝える震災の教訓

防災意識向上プロジェクト講演会が10月24日、宇漢米館で開かれました。講師は消防庁災害伝承語り部の草貴子さん。「わたしの3.11と明日への備え」と題し、東日本大震災の体験を通して、防災意識の風化を防ぐことの大切さや共助の重要性を語りました。参加者は、日頃の備えの大切さを改めて胸に刻んでいました。



語り部として震災体験を語る草さん

交通死亡事故ゼロ1年達成 県警本部長賞賛状を受賞

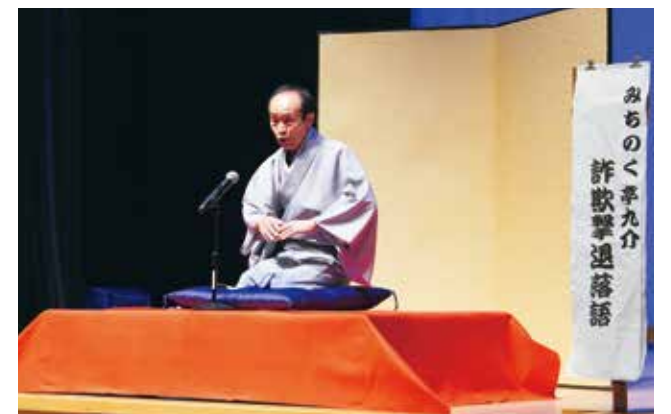
軽米町役場で交通死亡事故発生抑止1年達成に伴う賞賛状伝達式が行われました。町は10月6日で1年間、交通死亡事故ゼロを達成。交通安全への継続的な取組が評価され、岩手県警察本部長賞賛状が授与されました。黄川誓二戸警察署長は「地域の皆さん一人一人の御協力があったからこそ」と述べられました。



地域の安全を守る思いを胸に記念撮影

落語で学ぶ防犯意識 詐欺被害防止落語を開催

岩手県地域安全アドバイザーのみちのく亭九介さんによる詐欺被害防止落語が10月17日、宇漢米館で行われました。九戸村出身の九介さんが軽妙な語り口で、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の手口と注意点を紹介。来場者は笑いの中にも真剣な表情で耳を傾け、冷静な対応の大切さを学んでいました。



笑いを交えながら詐欺被害の手口や対策を伝える九介さん



軽高だより

地域探究生徒交流会in軽米高校

10月24日に軽米高校で地域探究生徒交流会が行われました。軽米高校・葛巻高校の生徒交流を目的とした企画で、3年目を迎える今年は盛岡第三高校の生徒も参加しました。対象生徒は2学年で、1年生の時から取り組んでいる総合的な探究の時間についての中間発表として位置づけられています。地域課題等について考え、これまでの取り組みをまとめたものをスライドやポスターにまとめて発表を行いました。総勢20のグループの発表が行われましたが、どのグループも個性的な内容で生徒と職員は発表に聞き入っていました。来年度は軽米高校が葛巻高校へ赴いて実施をする予定です。



発表を聞き入る生徒たち



葛巻高校生と盛岡第三高生に発表しました

学校の様子はこちらからもご覧いただけます



ホームページ



note



vimeo

軽米秋祭りを楽しみ、癒されました！
9月13～15日、軽米秋祭りへの参加と墓参りで帰省しました。初日は小雨まじりでしたが、参加者5名で力強く山車を引きました。祭りは地域のつながりを育み、世代を超え移住者を受け入れてくれます。子供の頃から関わるっていいなと感じました。翌14日は好天に恵まれ、軽米音頭流し踊り日和となりました。役場から開会式会場までの送迎バスも好評で、開会式から盛り上がりを見せました。軽米高校東京支部・在京軽米会コラボチーム12名は元気に踊り、浴衣姿の女性たちも沿道の注目を集めました。慰労会では参加者全員が「充実感と一体感を持てた」「世代を超えた交流を生み出し、祭りの楽しさを共有できた」など語り合いました。2026年の秋祭りも山車引き・流し踊りへの参加を楽しみにしています。来年度も「わーどもかででけろ」よろしく願います。

軽米高校同窓会東京支部長・在京軽米会副会長
畑澤 康弘

在京 軽米会 だより



雨の中祭りを盛り上げました！



姉妹町だより

今年度で姉妹締結から40周年

音更の秋、みのり～むフェスタおとふけ2025を開催

10月5日、みのり～むフェスタおとふけ2025が道の駅おとふけで開かれ、過去最高を更新する約1万6,500人が訪れました。来場者は、地産地消のメニューに舌鼓を打つなど音更の味覚を満喫。また、岩手県軽米町との姉妹締結40周年を記念し、軽米町ふるさと大使で『甘党男子』の神久保翔也さんが出演したほか、軽米町の郷土芸能「山内神楽」の演舞が披露されるなど会場は大盛況でした。

北海道音更町

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約43,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、1985年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。



ゆるキャラたちと「はい、チーズ！」

玉姫グループ

葬儀・法要専門会館
セレモニーホール

玉泉院

0120-494-109

葬儀・法要お気軽にご相談ください 館内見学、事前見積り相談承っております。

二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600

久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061

軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109

福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440

九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

一緒に働こう!!

従業員募集

週1回から
短時間でも
構いません

従業員・アルバイトを募集しています。まずは、お気軽にお電話ください。
軽米町大字上館第20地割1-2 ☎46-2421 FAX: 46-4274 (担当: 林まで)

プライフーズ株式会社 軽米工場

未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。

Prifoods.
プライフーズ

図書館だより

おすすめの本を紹介するコーナー

■ 藤田 悠慎 さんお気に入りの一冊



藤田 悠慎 さん
(軽米小学校3年)

トリケラトプスとカルノタウルス

にくしよくツノリゅうとたたかうまき

作・絵/黒川みつひろ (小峰書店)

この本はビッグホーンとリトルホーンが子供を助けるために、カルノタウルスに立ち向かっていくお話です。

僕は、この本に登場するキャラクターの中で、ビッグホーンをととても気に入っています。ビッグホーンが子供を守ろうとカルノタウルスと戦う場面はとても面白くて、心に残りました。皆さんも、ビッグホーンとカルノタウルスの熱い戦いをぜひ読んでみてください。

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

上澤 優奈 さん (晴山小学校5年)

私の将来の夢

私の将来の夢は、一輪車の指導者になることです。私は、4月に盛岡市の小学校から転校してきました。盛岡にいたときから一輪車の練習をしています。学校が終わったあと、児童センターで練習をしていました。その時の先生が教え方が上手で、今でも思い出に残っています。

私に教えてくれた先生のような指導者に私もいつかになりたいです。そして、晴山小学校でもたくさんの人に一輪車の魅力が伝わるとうれしいです。



Unique poems

町文化協会 北光吟社 9月例会句会

風そよぎ 千草 莫塵 敷きおままごと 君成田 美代子
萩咲くや 免許更新 自信なく 川崎 郁子
葬儀終え 一人旅なる虫の宿 大清水 雪子
声高く 流し踊りに 秋津飛ぶ 長島 龍泉
秋の蝶も つれあいつつ 狭庭かな 中野 とき子
挽ぎたての五つ 艶やか 秋茄子 高橋 美智子
ハクビシン 一夜で 葡萄台無しに 三上 千栄女
今日も来て 影絵の鳥や 秋入日 丹下 美恵子
山谷を越え 来し人よ 秋祭 千葉 ふみ子
デイケアへ 続く 野路の 芒穂に 松村 英子

児童書

一般書



くまくんこぐまくんのおいもほり

作/乾栄里子
絵/松田奈那子 (文溪堂)

きょうは楽しいおいもほり。いっぱいおれたよ、さっそく食べよう！てんぷらにやきいも、スイートポテト…どれがいちばんおいしいのかな？



ブラックスワン

著/相場英雄 (幻冬舎)

警護の仕事をする城戸に、娘から依頼が入った。友人の真衣を沖縄に連れて行ってほしいという。彼女と合流して程なく、何者かが狙撃してきてー

図書館ひろばのご案内

絵本の読み聞かせや紙芝居などをします！

日時：12月20日(土) 10:00～

場所：宇漢米館2階 研修室2(和室)

対象：幼児、小学生

11月のテーマ図書展

『本で習いごと気分』

秋も一段と深まり、何かを始めたくなる季節が到来しました。教室に通うほどではないが何かを始めたいという方は、本を借りて学んでみるのもいいでしょう。今月は、手芸や絵手紙、ヨガなど様々なジャンルの本を取り揃えましたので、ご利用ください！



宮沢 歯科 医院

健康は『健口』から	
診療時間	月 火 水 木 金 土
9:00～12:00	● ● ● ● ● ●
14:00～18:00	● ● ● ● ● ●
※予約制・当日予約可 休診日 日曜・祝日 第1,3土曜日	
宮沢歯科医院 軽米町	検索
九戸郡軽米町軽米8-105 TEL:0195-46-2953	

中小企業の繁栄と発展をサポートします

丸橋 弘

税理士事務所

税理士 丸橋 弘 (東北税理士会所属)

相続税・贈与税・所得税・法人税・消費税

丸橋弘税理士事務所 検索

TEL:0178-32-0170 八戸市売市一丁目12-5

日帰り白内障手術・小児眼科
医療法人 仁久

白山台くに眼科

理事長 日本眼科学会認定専門医 濱端 久仁子

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00～11:30 ● ● / 手術 予約のみ ●

14:00～16:30 ● ● / 注射 ● /

休診日:毎週水曜・第4土曜・日祝
TEL:0178-51-9251

地図:国道104号線、ハピコ、白山台小学校、白山台小学校、白山台小学校、白山台小学校

手造り 仕出し

味 彩

純和鶏 (唐揚げ・焼き鳥)

テイクアウト予約承ります

折詰・弁当・オードブルにお気軽にお電話ください。

軽米町大字軽米11-127-4 TEL:46-3680

戸籍の窓口

9月1日～9月30日 ※敬称略

お く や み

小笠原 和 子 (89)	向川原
西 館 チ ル (91)	蛇 口
根 崎 キ ミ (91)	蓮台野
松 原 ミ チ (86)	高 家
福 田 和 子 (82)	下増子内
玉 田 忠 作 (98)	下河南
寺 澤 弘 (65)	東
田 中 辰 男 (89)	笹 渡
大 鳥 キ ヨ (99)	上新町
竹 林 優 子 (63)	和当地
小 林 サ ン (93)	下円子上組
切 明 ヨ シ (103)	下河南
輪 達 よ う 子 (73)	下新町
下 館 シ ナ (94)	山 田
中 村 保 雄 (85)	上河南
橋 場 敏 幸 (64)	岩 崎
中 野 恭 博 (77)	本 町
工 藤 慶 (90)	門 前
外 川 伸 (68)	上新町

人 の 動 き

令和7年9月30日現在(カッコ内は前月比)

人 口	7,718人(－24人)
男性	3,784人(－8人)
女性	3,934人(－16人)

世 帯 数	3,597世帯(－13世帯)
転入	4人
転出	10人
出生	1人
死亡	19人

火 災 ・ 救 急

9月末(カッコ内は1月からの累計)

火 災	0件(8件)
救 急	28件(299件)

交 通 事 故

9月末(カッコ内は1月からの累計)

人 身 事 故	1件(2件)
死 亡 者	0人(0人)
物 損 事 故	12件(110件)

みんなの国民年金

11月は「ねんきん月間」、
11月30日は「年金の日」です！

日本年金機構は、国民の皆さんに公的年金制度を身近に感じてもらい、公的年金制度に対する理解を深めるための普及・啓発活動に取り組んでいます。

また、11月30日(いいみらい)は、ご自身の年金記録や年金受給見込額を確認し、将来の生活設計を考えてもらう「年金の日」です。この機会に「年金定期便」や「ねんきんネット」で年金記録の確認や年金見込額を試算して、将来の生活設計を考えてみませんか？

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンから、いつでもどこでもご自身の

年金記録を基に将来の年金見込額を試算することができるほか、「未納期間を確認したい」「年金振込通知書などの通知を確認したい」など年金加入者の方々にも役立つサービスです。

先月の記事でもご紹介した社会保険料控除証明書についても、マイナポータルとねんきんネットの連携手続きがお済みの人は電子送付での希望登録を行うと電子データで受取り、e-Taxによる確定申告で利用できるようになります。ぜひ、ご利用ください。

【問い合わせ】

二戸年金事務所(☎23-4111)
町民生活課(☎46-4734)

入会登録料を補助

i-サポで出会いを
見つけよう



結婚サポートセンター「i-サポ」は、県と市町村などが協力してパートナー探しをサポートしています。会員登録制による1対1の出会いの場を提供し、専任のスタッフが交際につながるまでをしっかりフォローします。「i-サポ」で理想の相手を見つけませんか？
※町では入会登録料1万円を全額助成しています。

【問い合わせ】
健康福祉課福祉担当(☎46-4736)



写真募集中

軽米町内の景色や風景、町内に住むお子さんの写真を募集しています。採用された方には図書カードをプレゼント！ご応募お待ちしております！



あ と が き



今月号の表紙は、晴山保育園の園児が元気いっぱいにサツマイモ掘りを楽しむ様です。土の中から大きなお芋が出てくたびに歓声が上がりました。秋の陽ざしの中で一生懸命に掘る姿は、とてもほほえましいですね。
秋といえば、美味しいものがたくさん！お芋やきのこ、秋刀魚など、ついお腹が減ってしまいます。体調に気をつけながら、“実りと味覚の秋”を堪能して、笑顔で元気に過ごしましょう。(kai odashima)

休日当番医

(二)…二戸市 (軽)…軽米町 (一)…一戸町

日	急患(午前9時～午後5時)	電話	歯科(午前9時～正午)	電話
11/16	かわさきクリニック(二)	26-9900	菅歯科(二)	23-5161
11/23	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	宮沢歯科医院(軽)	46-2953
11/24	松井内科医院(一)	33-2201	岩渕歯科医院(一)	32-2238
11/30	菅整形外科皮膚科クリニック(二)	23-7311	国香歯科医院(二)※裏小路	23-2223
12/7	いちのへ内科クリニック(一)	33-2701	ぽっぽ歯科クリニック(一)	31-1182
12/14	カシオペア医院(二)	23-3331	ますだ歯科クリニック(二)	26-8282

広告募集

問い合わせ seisaku@town.karumai.iwate.jp

1号広告(本枠)	2号広告(横幅が本枠の倍)
○白黒 4,000円	○白黒 8,000円
○カラー 6,000円	○カラー 12,000円

※半年以上の連続掲載で割引あり。

ECCジュニア軽米教室



無料体験レッスン実施中！
(日曜日可) レッスン見学可
お問い合わせは...
教室HP: ecc かるまいで検索
教室Instagram: eccかるまいで検索
九戸郡軽米町大字軽米第12地割24番地6
Tel:0195-46-3419

当院にご相談ください

喘息・長引く咳・長年のタバコで息苦しい
高血圧・糖尿病・高脂血症・睡眠時無呼吸

八戸函南小学校向い(登り街道340号線 八戸市内入ってすぐ)

はやし呼吸器・総合内科クリニック
電話 0178-20-7723

障がい者支援施設 太陽荘

子育て中や未経験の方でもイチから指導します！

介護・看護職員大募集！

介護業務経験のある方は、給与面で考慮いたします！
充実の待遇・資格取得支援制度あり。
私たちと一緒に働いてみませんか？まずは、お気軽にお電話ください。

問い合わせ先：太陽荘(軽米町大字山内12-89-7) TEL. 0195-47-2316



軽米町のホームページ・SNSはこちら！
フォローや友達登録よろしくお願ひします。



軽米の輝き人 vol.55

One and only brilliance



全国の舞台で技を競う 建築職人への第一歩



岩手県立二戸高等技術専門校2年生

戸 舘 智 哉

T O D A T E T O M O Y A

令和7年10月17日から20日まで愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)で開催された「第63回技能五輪全国大会」に、岩手県立二戸高等技術専門校建築科2年の戸舘智哉さん(軽米高卒)が県代表として出場した。全国から23歳以下の青年技能者1025人が42職種で技を競い合う中、岩手県代表として建築大工の職種に挑んだ。

代表選考では、建築大工の2級技能士課題に取り組み、作品の出来栄や精度が評価されて県代表に選出。「出られたらいいなと思っていたので、選ばれたときはうれしかった」と当時を振り返る。建築大工部門では県内唯一の専門校生として参加し、企業所属の選手たちや全国の学生に混じって堂々と技を披露した。

競技では、与えられた設計図面をもとに木材を正確に加工・組み上げていく。限られた時間の中でひとつひとつの寸法や角度を合わせる集中力が求められ、「一か所長さを誤ってしまい焦ったが、修正して形にできた」と話す。緊張の中でも最後までやり遂げた経験を、今後の糧とする。

父の姿に憧れて建築の道に進んだ戸舘さん。幼い頃から木工に親しみ、「カンナ掛けて木肌がつるつるに仕上がった瞬間が一番気持ちいい」と笑顔を見せる。大会を通じて技術力や図面理解力が飛躍的に向上し、全国のレベルの高さにも刺激を受けたという。

卒業後は県北地域の建築会社に就職予定。「いつかは一人で家を建てられる大工になりたい」と語る。確かな技と情熱で、町民の暮らしを支える存在として今後の活躍が期待される。